



合併の方式について、熱心な論議が交わさ

第4節までが提案されました。

序論では、合併を行う意義として、①自立する新たな都市づくりへの転換のため、自己決定し自己責任を負う経営構造を確立することが求められていること ②住民ニーズに的確に対応するため、行政能力を充実するとともに最小の経費で最大の効果をあげる財政運営が求められていること ③国勢調査などのデータを基に、商圏、通勤・通学、交通網、歴史文化を含めた生活文化圏としての一体性が既にあること、などが記述されています。

本論第1章では、新市の地勢、人口、産業構造を国勢調査などのデータを基に新市の概要をまとめています。

新市の産業構造は、第1次産業の総生産額は171億8、100万円で、就業人口は10、306人、第2次産業の総生産額は1、646億4、600万円で、就業人口は32、889人、第3次産業の総生産額は7、454億9、100万円で、就業人口は101、362人です。「平成11年度県民経済・市町村民経済計算報告書」及び

「平成12年国勢調査」による。

また、新市の農業粗生産額は、福岡県で1位、九州で2位になることが記述されています。新市の産業別就業人口及び産業の状況は下段表のとおりです。

第2章では、新市建設計画の基本理念として、これまで培われてきた1市4町の多様な地域特性を尊重し、大

主な意見（要約）

第7回協議会では、「合併の方式」について、委員から多くの意見が出されました。その主なものを紹介します。

【意見】

各自自治体の合併に対する基本的な考え方、つまり、「なぜ、広域合併という選択をしたのか」ということが最も大事であると思っている。新市建設計画における施策の考え方等に見られるように、「一体的な都市づくりを実現するため、4町の施策・事業化を優先して整備する」と謳われているわけである。ここで、文章の文言や面子にこだわら

切にした都市づくりを進めるとともに地域魅力の相乗効果でさらに素晴らしい地域魅力を創出すること。また、自然と都市、人と人、人と自然、そして地域と地域の共生を目指すことなどが記述されています。

新市の目ざす都市像として、1市4町の総合計画に掲げる都市像の基本的考え方を受け継ぎながらも一極集中型の都市から多極分散型、ネットワーク型、クラスター型の都市づくりを進めていくこととしています。

また、「暮らし」、「都市基盤・生活基盤」、「産業振興・雇用促進」、「中核都市機能」の4分野にわたり目ざす都市機能の整備・実現に取り組んでいく

ことなく、周辺自治体の住民の同意を得るためにも、私は「編入合併」が望ましいと考えている。私たちもみなさんと一緒に市民になったなら、一体感のある市民生活を送りたいと思うので、この協議会を通じてこだわりを捨て、「同じ市民である」という視点に立って、合併をしたいと考えている。

【意見】

いかに1市4町が信頼関係の基に最適な合併を目指すかが重要であり、いかにお互いを認知しあい問題を解決していくか、これを前向きに進めていかないとよい合併はできない。

【意見】

1市4町の心の合併を目指してみんな頑張っていきたい。心無くしては、こ

【意見】

れからの合併の前途は危ぶまれる。心の合併で、心を大事にしていきたい。

この合併の本質は対等以上のものがあると思う。前回の協議会の追加資料「新市としての一体的な都市づくりについて」の内容を見ると、「一体的な都市づくりを優先するため、4町における施策・事業を優先して整備する。久留米市における施策・事業は4町の都市づくりに必要な施策・事業とする」など、4町における施策・事業を優先する都市づくりとなっている。そういうことをきちんと受け止めて、法律上の「新設」「編入」というのはこだわらなくてもよいのではないか。委員として住民にきちんと説明し、納得をしてもらわないといけない。

○産業別就業人口

	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
久留米市	4,312	3.9%	23,585	21.3%	82,907	74.8%
田主丸町	3,360	30.9%	2,386	21.9%	5,134	47.2%
北野町	1,265	14.9%	2,019	23.8%	5,201	61.3%
城島町	563	8.3%	2,575	38.2%	3,614	53.5%
三潴町	806	10.6%	2,324	30.4%	4,506	59.0%
計	10,306	7.1%	32,889	22.8%	101,362	70.1%

(出典：平成12年国勢調査)